

ふれあい

題 字 辰巳 耕 兄

第106号

発行日 平成28年2月吉日

発行人 大田 和人

東大阪養護老人ホーム 編集委員会

東大阪市新上小阪11-2

東大阪養護老人ホーム 06-6726-3031

E-MAIL hoy@ace.ocn.ne.jp

http://www.osj.or.jp/higashiosaka/

寒い日が続きますが皆様いかがお過ごしでしょうか。今回は介護科主任として、生活支援の場の視点も交えてお伝えできればと思います。さて、27年12月で完全バリアフリーの当施設へ移転して2年が経過しました。バリアフリーという環境は大変過ごしやすのですが、利用者様の日常生活動作や基礎体力がやや下がった印象を受けました。そのため、27年11月より昼食前の体操と昼食後の廊下の散歩を毎日実施させて頂きました。当初はどれだけの方が参加して頂けるか不安ではありましたが、皆様も運動不足を感じておられ、予想以上に参加をして頂きました。そういった取

り組みもそうですが、27年度は施設として様々な事に取り組みできて参りました。上手くいった事もありますが、そうでなかった事もあります。そんな中、品質マネジメントISO9001の取得への取り組みが終盤になり、職員への研修や書類の作成に追われています。ただ取得して終わるのでは無く、先程の上手くいった事や上手くいかなかった事をISO9001を通して管理し、それを利用者様への支援へとしっかりと反映させる事を意識して今年度は取り組んでいきたいと思えます。最後になりましたが、今年も何卒よろしくお願い申し上げます。

ごあいさつ



東大阪養護老人ホーム
主任 庄野 剛史

ふれあい祭り

10/17

新上小阪へ移転後2回目となるふれあい祭りを開催いたしました。

当日は、焼きそばやおでん、フランクフルトの屋台、ゲームコーナー、バザー、姉妹施設であるよりそいの丘のパン販売、民謡クラブの発表、ボランティアサークル「遊」様2行による踊り、コンサート、職員による演芸、ビンゴ大会などを行いました。

地域の皆様には昨年以上に数多くの方々に来所していただき、ふれあいの場を持つことができました。



介護相談会 お困りごとQ&A

ケアプランセンター「ふれあい」

早いもので、当地域で居宅介護支援事業を開設してから三年目の春を迎えます。

地域の皆様からのご相談で、最も多いのは「介護保険を利用するにはどうすればいいの？」というごく基本的な質問です。

基本的には要介護認定の申請を行い、認定が下りてからサービス利用開始となりますが、実際は暫定で（認定が下りたとして）サービスを利用することもできます。

ケアマネとして「そうなの！」と良い意味で喜んで頂け、利用者様並びに、ご家族の皆様のお役に立てるよう、在宅介護のお手伝いをさせて頂きたいと考えております。

本年もこの初心を忘れず、汗を流したので、何なりとご相談下さいませ。

医務室だより

診療所 管理医師 原 聡

皆さん、お元気ですか。

入所者さんの多くは、やはりご高齢の方で様々な病気をお持ちです。その中でも高血圧症、糖尿病、高脂血症など、いわゆる生活習慣病が多くを占めています。また腰痛などの整形外科領域の病気や白内障、緑内障などの眼の病気、喘息や肺気腫など肺の病気も多いようです。生活習慣病は当然お薬を必要とする方はおられますが、間食を控える、食べ過ぎない、適度な運動をすることで、皆さんで予防や悪化を防ぐことができます。病気を理解し、適正に服薬し、健康年齢を延ばすようにしましょう。

編集後記

今回の広報誌はいかがだったでしょうか？ふれあい祭り、地域の方々との交流、近畿大学建築学部の学生さんとのコラボレーション等、地域の皆様のご協力があり盛りだくさんの内容となっております。今年も何卒よろしくお願い申し上げます。

集会での ご要望に対して

第三者委員会の方にも入って頂き月に一度ご利用者様と職員間で報告や質疑応答等を行う機会を設けています。この集会では毎回ご利用者様より、様々なご質問や多種多様なご意見をいただきます。ご意見の中には食事内容から洗濯機の使用法まで様々ですが、今後もご利用者様お一人お一人に寄り添いながら、施設（150人の共同生活の場）の中でもできる限り快適に生活を送れるよう職員一同努めて参ります。

◆◆◆今年度のステップアップ事業◆◆◆

今年度のステップアップ事業、「近畿大学とのコラボ」の二つ建築学部と4階娛樂室しつらえ改修の進捗状況です。

建築学部の学生から頂いた、最終案をさらに修正した、再最終案を11月に頂きました。コンセプトのそれぞれの目的に合わせた空間作りはそのまま含まれており、それをさらに利用しやすく、使いやすくなりました。これをもとに、12月に建築学部学生とホーム職員とで家具等の買い物をしてきました。大型家具から小物まで数十点を購入。家具の取り寄せの関係で、最終的に1月13日にしつらえ完成しました。学生による利用者様のアンケートも実施します。娛樂室のピアノアフターを喜んでいただけるでしょうか。



デイサービスセンター「ふれあい」



デイでは、クリスマスにシュークリームとスタッフサンタによるハンドベルミニ演奏会でクリスマスをお祝いしました。大きなシュークリームにホイップやフルーツをトッピングし、それをみなさまに召し上がって頂きながら、ハンドベルを優雅に聴いていただくイメージ…でしたが、曲の途中で、のど自慢の鐘のような音が「ちーん」と…そんな失敗にも皆さまは笑顔のプレゼントを下さいました。今年はその笑顔に負けないうらいに楽しい一年にしていきたいと考えております。

みなさま、本年もよろしくお願い致します。

OSJ工房 よりそいの丘

おかげ様で事業開始して2年目を迎えました。これもひとえに皆様のご支援の賜物と感謝申し上げます。

就労継続支援A型では、お客様に喜んでもらえる美味しいパンを作る為の支援はもちろんのこと、利用者個人個人のスキルに合わせたステップアップを目指し、利用者が成長を感じられるようよりそいながら支援しています。

就労継続支援B型では、利用者の工賃アップややりがいを高める為に複雑な軽作業も行うようになりました。毎日難しい作業と格闘しながら納期に間に合うように日々励んでいます。



少人数食事会



毎年恒例の少人数食事会です。食事サービスの一環として、各階の娛樂室において約10名ごとによる昼の食事会です。いつもの食堂とは違う場所で食事することで、環境も変わり楽しく食事をしていただく事を目的としています。目の前でお好み焼き、焼きそばを焼いて、煙がモクモク充満する中、いろいろな会話を弾ませながら楽しい時間を過ごしていただいています。

近畿大学吹奏楽部 クリスマス コンサート

12月23日午後3時30分開始のコンサートでは予定時間の10分前にスタンバイされていた部員の皆様は、続々と入って来られる利用者を迎え入れて下さいました。凛とした姿に金賞を過去20回獲得されるなどトピッククラスの演奏力以外にも、聴いて下さる方に対する礼儀の心をひしひしと感じました。メドレーを含めて約30分の時間はあっという間でしたが、離れて暮らす子供さんやお孫さんを出したと涙ぐまれている利用者の方が何人もいらっしやるなど、施設で今年2回目のコンサートは大盛況でした。来年も素晴らしい演奏を聴かせて頂けますように、このご縁を大切にしたいと思います。



地域との交流

自治会お餅つき

今年もホーム地元自治会のお餅つきに参加させて頂きました。

早朝より90キロのもち米を手分けしてついてゆきますが、自治会の方々は慣れた手つきで餅つきを上手くリードされるのでどんどんお餅が出来上がります。

つき上がったお餅はすぐ、ぜんざい・きなこ餅等に調理してふるまわれますので、地域の子供や高齢者が楽しみにされており大勢の方々と賑わっていました。

来年も色々な自治会行事に参加し、又、地域の方々もホーム行事に参加して頂き、より活発な交流が出来ればと思います。



ふとん太鼓

地域の秋祭りに参加させていただきました。また今年も御神輿を担がせていただき大変貴重な体験をさせていただきました。とても熱気があり地域の方々も優しく迎え入れて下さり本当にありがとうございました。

また毎年大迫力の御神輿をホームの玄関まで入っていただき利用者様の前でお披露目していただきました。利用者様も地域の方々と一緒に手拍子をされ、とても満足されていました。来年もどうぞ宜しくお願いします。

